

# 日医ニュース

2025. 2. 5 No. 1520

発行所 **日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



- トピックス**
- 定例記者会見 ..... 2面
  - 知って欲しい!  
釜淵副会長② ... 3面
  - 令和7年度税制改正大綱 ..... 4面

## 「赤ひげ大賞」受賞者(5名)

順位は北から  
受賞者の年齢は2025年1月8日現在

なかむら しんいち  
**中村 伸一** 医師



61歳 福井県  
おい町国民健康保険  
名田庄診療所 所長

人口約2,000人の地区唯一の診療所で30年以上勤務を続けている。1991年に診療所、村役場住民福祉課、社会福祉協議会の全職員からなる「健康と福祉を考える会」を結成し、多職種による訪問調整・事例検討会、在宅ケア講座、ボランティアグループ結成など、保健・医療・福祉の連携を実現。住民と共に活動することを目指し、国保診療所と国保総合保健施設が一体化した「あっとほ〜むいきいき館」の創設にも尽力した。地域医療研修の研修医を受け入れ、後進の育成にも熱心に取り組む。

はやかわ とみひろ  
**早川 富博** 医師



73歳 愛知県  
愛知県厚生農業協同組合連合会  
足助病院 名誉院長

1996年に赴任し、訪問診療にも従事。過疎地の在宅療養者を見守るべく、画像・音声・生体情報の双方向通信が可能なシステムを開発した他、電子カルテを導入するなど、医療・介護の情報ネットワークの構築に努めてきた。住民健診にも30年近く従事し、健康啓発活動を行うとともに、2010年には「三河中山間地域で安心して暮らし続けるための健康ネットワーク研究会」を設立して地域住民、保健・医療・福祉・介護サービス事業者、行政、各種団体等と連携した活動を展開している。

なかむら まさひろ  
**中村 正廣** 医師



76歳 大阪府  
中村クリニック 理事長

かかりつけ医を志して開業し、クリニックの上に住まいを設けて約30年、時間外も患者に対応してきた。患者が最期まで住み慣れた街で過ごせるよう、地区医師会を通じて在宅医療の体制充実に注力。多職種連携、災害時の在宅医療体制の構築にも大きな役割を果たした。在宅医療の最終段階は「まちづくり」であるとして、地元商店街の中に高齢者や児童など多世代が交流する場である「新道パトリ」を私財を投じて開設、今では医療・介護・地域・各種団体との連携基盤となっている。

ゆうさく  
**高垣 有作** 医師



66歳 和歌山県  
国保すさみ病院 顧問

2055年の日本の高齢化率予測に既に達しているすさみ町において、限られた医療資源を効率的に活用するため、広報や講演などを通じて地道な啓発活動を行い、多かった休日・時間外の不要不急の受診をピークの60%まで減少させた。2009年からは医師搬送型の新型ドクターカーの運用を行う一方、予防医療を推進し、臓器別にとられない総合診療を実践した他、赤外線センサーを用いて在宅での見守り体制も整備し、18年間で町の健康寿命を延伸させた。

まべ まさこ  
**間部 正子** 医師



97歳 熊本県  
間部病院 理事

1957年に耳鼻咽喉科を開業。周辺に医療機関が少ないため、医師の義父・夫と共に内科や外傷処置、帝王切開手術助手、予防接種、健康指導にも従事し、80床の病院に拡張してからは、増加する診療時間外受診、救急車搬送患者にも24時間・365日体制で対応してきた。また、実習病院として准看護師の育成に携わり、長年、地域の学校医を務めるばかりでなく、特別養護老人ホームやデイサービスセンターを設立するなど、地域の医療・福祉に多大な貢献をしている。

## 「赤ひげ功労賞」受賞者(14名)

順位は北から・敬称略

かとう てるお (北海道) **加藤 輝夫**  
こぐれ けんぞう (東京都) **小暮 堅三**  
きのひら あきよ (静岡県) **紀平 章代**  
どて けいご (広島県) **土手 慶五**  
あそう ひろし (大分県) **麻生 宏**

おがさわら まさみ (秋田県) **小笠原真澄**  
どい なおき (神奈川県) **土肥 直樹**  
わたなべ こうすけ (京都府) **渡辺 康介**  
よしだ おさむ (徳島県) **吉田 修**  
とくだい かずひろ (鹿児島県) **徳留 一博**

たかたま まさみつ (群馬県) **高玉 真光**  
なかむら くにお (富山県) **中村 國雄**  
たけち みさお (鳥取県) **武地 幹夫**  
いまい ようこ (愛媛県) **今井 洋子**

日本医師会

# 赤ひげ大賞

## 第13回

### 「日本医師会 赤ひげ大賞」

### 大賞並びに功労賞の受賞者が決定

第13回「日本医師会 赤ひげ大賞」(主催:日本医師会、産経新聞社、協力:都道府県医師会、特別協賛:太陽生命保険)の受賞者として、「赤ひげ大賞」5名、「赤ひげ功労賞」14名が決定し、選考委員を務めた黒瀬巖常任理事が1月8日に行われた定例記者会見で発表した。

「日本医師会 赤ひげ大賞」(以下、「赤ひげ大賞」)は、地域の医療現場にスポットを当て、その

「赤ひげ大賞」の名称は、山本周五郎の時代小説「赤ひげ診療譚」に由来しており、同小説の主人公は、江戸時代中期に

賞の創設以来、毎回、5名の医師を「赤ひげ大賞」に決定、第8回からは「赤ひげ功労賞」も創設し、その功績を称えている。

その結果、都道府県医師会から推薦された候補者から19名を「赤ひげ功労賞」に、その中から5名を「赤ひげ大賞」に選定した(大賞受賞者の功績、功労賞受賞者の氏名は左掲参照)。

「赤ひげ大賞」は、13回目となる今回は、

なお、表彰式・レセプトシオンについては、2月に都内会場で開催する予定。

ることを目的として、平成24年に日本医師会と産経新聞社が創設したものである。

川養生所で活躍した小川笙船をモデルとしている。

選考を行っていただいた。その結果、都道府県医師会から推薦された候補者から19名を「赤ひげ功労賞」に、その中から5名を「赤ひげ大賞」に選定した(大賞受賞者の功績、功労賞受賞者の氏名は左掲参照)。

ことば、受賞者の功績にもなることを強調。また、受賞者の功績を知ること、一人でも多くの方々に、受賞者のようなかかりつけ医をもちたいと思ってもらえればありがたい」と述べた。

### 選考委員

- 羽田信吾 (恩賜財団母子愛育会会長)
- 向井 千秋 (東京理科大学特任副学長)
- 檀 ふみ (俳優)
- ロバート キャンベル (早稲田大学特命教授)
- 森光 敬子 (厚生労働省医政局長)
- 医学生 (和歌山県立医科大学、琉球大学/令和6年度)
- 城守 国斗 (日本医師会常任理事)
- 黒瀬 巖 (日本医師会常任理事)
- 羽成 哲郎 (産経新聞社取締役)
- 河合 雅司 (産経新聞客員論説委員)

(敬称略)

日本医師会

# 定例記者会見

1月8日

## 新年に当たって



松本吉郎会長は新年に当たっての所感を述べる

に触れ、旧年は医療と所縁のある年であるとして、他、「箱根駅伝の選手達のように、医師会活動に邁進された先人達が糧をつないで下さった国民皆保険制度を、日本医師会として次世代にしっかりと継承していく」との決意を示した。

冒頭、松本会長は、昨年末から年初にかけて流行したインフルエンザ等の感染症に対し、各地域において年末年始に対応した医療機関に深く、地域医療に携わ

り、幅広い人脈を持つなど、余人をもって代え難い存在である」と述べた。

その上で、対応はまだ不十分であり、国民生活等にも支障を来し始めているとの懸念を示し、3点（①診療報酬②社会保障予算の目安対応③小児医療・周産期体制）の具体的な要望を説明した。

①では、物価・賃金の上昇に応じて適切に対応する仕組みの導入を提案した上で、「著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での迅速な対応を求めること

が図られるものではない」として、「経済的インセンティブ、地域の医療機関の支え合いの仕組み、医師養成課程の取り組み等の総合的な対策を基本的な考え方として、②若手医師だけでなく、全ての世代の医師へのアプローチも謳っている」として評価できる

その一方で、外来医師過多区域で、地域で不足している機能を担わない医師に対し「要請・勧告・公表、保険医療機関の指定期間の短縮が掲げられたことに関しては、「罰則的な対応ではなく、日本医師会としては、外来医師過多区域が否かにかかわらず、かかりつけ医機能を推進し、地域で不足している機能を面で支えていくためにも、多くの先生方に参画してもらう取り組みを進めていくべきと考えている」と主張した。

③では、著しい人口減少により対象者が激減していることに触れ、この問題は産科や小児科などの患者数の減少だけではなく、将来の医療の担い手の減少にも影響している問題であると指摘。今後、何らかの強力な方策が必要であり、検討を進めていくべきとの考えを示した。

その中で、同常任理事は、物価高騰や賃金上昇に診療報酬が追いついていない状況にあるとした上で、物価・賃金上昇にタイムリーに対応する何らかの仕組みの導入が必要ではないかと指摘。今後の対応について、中医協で議論することを求めた。

## 松本会長が挙げた今年の医療界の4つの話題

- 7月の参議院議員選挙
- 令和8年度診療報酬改定に向けた議論
- 医療法等改正による新たな地域医療構想と医師偏在対策
- かかりつけ医機能報告制度の施行

次に、松本会長は、医療



定も視野に入

た上で、「著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での迅速な対応を求めること

が踏襲され、「医師偏在は一つの取り組みで是正

ることもなく、一致団結して対応していく」と強調した。

「物価・賃金上昇にタイムリーに対応する仕組み」の導入に関する中医協での議論を要請

診療報酬に物価・賃金の上昇に応じて適切に対応する仕組みを導入する件については、1月15日に開催された中医協総会において、入院時の食費

の基準の見直しに関する諮問がなされた際にも長島公之常任理事が言及した。

## 大村北里大特別栄誉教授が 日本医師会館を訪問



2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智北里大特別栄誉教授が1月7日、日本医師会館を訪れた。

本訪問は、松本吉郎会長が昨年12月に開催された「北里大医学部新校舎完成記念式典」に招かれた際に、同席した大村特別栄誉教授から、日本医師会に対して、親交のある洋画家櫻井孝美氏が描いた絵画を寄贈したいとの申し出があり、それを受けて実現したものである。

当日は、まず、常勤役員が大村特別栄誉教授を1階ロビーにて出迎え、日本医師会初代会長であり、北里大とも縁の深

い北里柴三郎先生のプロフィール像の前で写真撮影を行った。

その後、松本会長、茂松茂人・角田徹副会長の案内の下、絵画の展示予定場所等を見学しながら、日本医師会に寄贈頂く2点の絵画を慎重に選定。両点共に富士山をモチーフとした作品（櫻井氏は富士山北麓にアトリエを構えており、富士山をモチーフとした作品を多数発表している）となっており、松本会長、茂松・角田両副会長は深い感謝の意を示した。

今回寄贈される2点の絵画については、額装の上、後日展示される予定となっている。

# 都道府県 医師会長 紹介

加納氏を選定

(大阪府医)



中尾正 俊前会長の逝去に伴い、昨年12月19日に大阪府医師会において臨時代議員会が開かれ、加納康至(かのうやすし)氏を選定した。

加納新会長は昭和29年大阪府の出身。昭和55年神戸大を卒業。府医理事・副会長を経て、令和7年1月現職に就任。71歳。

## 令和6年度日本医師会会員数調査結果まとまる

### 会員総数は前年度に比べ1,450人増加し、17万7,383人に

日本医師会は、昨年12月24日開催の第28回常任理事会で、都道府県医師会の協力により実施した令和6年度日本医師会会員数調査(令和6年12月1日現在)の結果を報告した。

それによると、会員総数は177,383人となったことが明らかとなった。A①会員は減少したものの、A②(B)会員並びにA②(C)会員等が増加となったため、全体では対前年度比で1,450人の増加となった。

会員数の内訳は、A①会員が81,765人(構成割合46.1%)、A②(B)会員が42,883人(同24.2%)、A②(C)会員が4,678人(同2.6%)、B会員が43,897人(同24.7%)、C会員が4,160人(同2.3%)となっている。

また、A①会員の内訳は、病院開設者が4,014人(構成割合4.9%)、診療所開設者が68,059人(同83.2%)、管理者が8,596人(同10.5%)、その他が1,096人(同1.3%)となっている。

日本医師会会員数調査 (令和6年12月1日現在)

都道府県 医師会	会 員 数					
	総数	A①会員	A②会員(B)	A②会員(C)	B会員	C会員
北海道	5,752	2,054	1,720	38	1,725	215
青森	1,192	599	265	13	210	105
岩手	1,614	649	334	19	493	119
宮城	3,431	1,445	1,076	122	726	62
秋田	1,533	551	150	7	740	85
山形	1,583	632	245	32	650	24
福島	2,717	1,146	560	12	802	197
茨城	2,690	1,348	627	160	531	24
栃木	2,339	1,119	358	61	699	102
群馬	2,155	1,236	433	86	324	76
埼玉	7,743	3,534	1,099	204	2,425	481
千葉	4,039	2,937	630	32	430	10
東京都	20,030	10,128	3,218	533	5,964	187
神奈川県	9,897	5,652	1,659	475	1,981	130
新潟	3,327	1,184	540	61	1,463	79
富山	1,155	643	183	36	281	12
石川	1,304	691	358	108	142	5
福井	1,009	433	317	1	240	18
山梨	1,058	522	133	1	374	28
長野	2,160	1,179	431	8	540	2
岐阜	3,011	1,264	374	82	1,137	154
静岡県	4,706	2,251	827	77	1,256	295
愛知県	11,082	4,687	1,588	342	4,046	419
三重	2,530	1,127	517	30	613	243
滋賀	1,328	862	224	5	214	23
京都	3,316	2,088	618	230	376	4
大阪府	16,233	7,372	6,022	486	2,274	79
兵庫県	8,674	4,467	2,623	145	1,378	61
奈良	1,971	999	376	99	493	4
和歌山	1,468	854	397	14	202	1
鳥取	749	366	166	34	173	10
島根	866	440	257	6	162	1
岡山	2,642	1,253	526	84	687	92
広島	5,633	2,157	2,696	201	549	30
山口	2,012	1,014	525	37	352	84
徳島	1,568	587	368	25	580	8
香川	1,702	691	447	1	562	1
愛媛	2,756	943	1,241	101	430	41
高知	1,233	434	514	12	273	0
福岡	8,988	3,850	1,842	269	2,704	323
佐賀	1,546	617	476	66	382	5
長崎	3,252	1,059	1,421	42	665	65
熊本	3,113	1,249	794	40	980	50
大分	2,222	837	437	1	916	31
宮崎	1,932	761	394	22	658	97
鹿児島	3,967	1,096	2,316	88	466	1
沖縄	2,155	758	561	130	629	77
合計	177,383	81,765	42,883	4,678	43,897	4,160
構成割合(%)	100.0	46.1	24.2	2.6	24.7	2.3

A① : 病院・診療所の開設者、管理者及びそれに準ずる会員  
A②(B) : 上記A①会員及びA②(C)以外の会員  
A②(C) : 医師法に基づく研修医  
B : 上記A②(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員  
C : 上記A②(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員



## 知って欲しい! 釜范副会長②

釜范副会長のことをより知って頂くために始めたこのコーナー。2回目の今回は日本医師会の役員になったきっかけや、日本医師会の役員として一番思い出に残った仕事などについて、お話を伺った。

### Q 日本医師会の役員となったきっかけを教えてください。

A 私は2014年に日本医師会の常任理事に就任したのですが、それ以前の高崎市医師会長や群馬県医師会参与の経験を活かして、日本医師会の役員にならな

ないかというお話を頂いていました。しかし、(一)開業をしている医師が日本医師会の役員になろうとする場合、医療機関を閉院するか、あるいは常勤の代診を、あるいは常勤の代診を馬場医師会長からも強い推薦があったこと、それ

下される患者さんを人任せにすることはできないとの思いが強かった。これも、なかなか決断ができませんでした。その後、羽生田俊先生が2013年の参議院議員選挙の際にお会いした当時の横倉義武会長、群馬県医師会長からも強い推薦があったこと、それ

### Q 日本医師会役員の中で一番思い出に残っていることは何ですか?

A やはり一番は新型コロナウイルス感染症への対応です。それ以前は、地元の高崎に帰って、休日や夜間の診療なども行っていました。新型コロナが始まってからはほとんど東京で仕事をするようになりました。

て、娘が私の診療所を承継してくれることになったことなどがあり、2014年に日本医師会常任理事に立候補し、皆様のご支援のおかげもあり、当選することができました。

しい情報が伝えられるよう、日本医師会の公式YouTubeチャンネルの動画などを通じて説明を行っていました。コロナ禍の日本の対応は当初、新型コロナがどんなウイルスかも分からず手探りの状態でしたが、会員の先生方のご努力により、日本ではG7加盟国の中でも、新型コロナの累積陽性者数、死者数共に低く抑えることができた、改めて感謝申し上げます。

し上げたいと思います。新型コロナのような感染症はまた、いつ起きるか分かりませんが、新型コロナやインフルエンザも依然として油断なりません。会員の先生方には引き続き、ご協力をお願いいたします。

## 日本医師会副会長 釜范 敏(かまやち さとし)

群馬県出身、日本医科大卒、高崎市医理事・副会長・会長、群馬県医参与を経て、平成26年に日本医師会常任理事に就任。令和6年からは日本医師会副会長を務めている。小児科。

### 釜范副会長関連 SNS



## 今冬のインフルエンザ感染急拡大への対応について

新年に入ってからインフルエンザの感染拡大が継続し、抗インフルエンザウイルス薬等、特にオセルタミビルリン酸塩製剤に関しましては一部供給に偏在が生じ〔詳細は発文書の日医発第1738号(技術)(健Ⅱ)(地域)等をご参照下さい〕、地域医師会及び会員の先生方から不足感があるとの声を頂いています。

日本医師会としましてはこれらの状況を受け、厚生労働省に対して、治療薬等の不足・偏在を速やかに改善してもらえよう強く申し入れを行うばかりでなく、感染拡大下においては医療現場で混乱なく診療が行えるよう、その対応の強化を求めているところであり、日本医薬品卸売業連合会に対しても、供給偏在が無いよう、安定供給に向けた取り組みへの対応を強く要望いたしました。

会員の先生方におかれましては、引き続きの対応とともに、地域における更なる情報がありましたら、日本医師会にご連絡頂きますようお願いいたします。

松本会長

全国医学部長病院長会議会長らと共に  
福岡厚労大臣に財政支援等を要望



左から永田会長、松本会長、福岡厚労大臣、相良会長、原特命教授

みならず、地域の基幹医療機関としても大きな役割を果たしている」と強調した。

また、(4)では、2023、2024年度の医業収入及び医業費用をそれぞれ比較した資料を基に、収入は増加しているものの費用がそれ以上に増加し、医業利益は対前年度比で、1大学平均・月額換算で約4800万円悪化していることを紹介。それらに加えて、患者数が減少傾向にあることにより、診療単価が上がったにもかかわらず、医業収入は減少していることを説明した。

善体整備特別事業(区分Ⅵ)の更なる拡充が必要と訴えた。

永田会長は、附属病院で生じる赤字が、人文科学分野に投資すべき教育研究費で補われている筑波大学の状況を説明し、地域医療に貢献するため他の分野が犠牲になっている現状を問題視した。

松本会長は、「この状態が続けば、地域医療を支える医療機関の経営は、今後ますます厳しい状況になっていく」と述べるとともに、地域の医療提供体制が一度破綻してしまうと、立て直すのは非常に困難であること

令和7年度税制改正大綱  
事業税の特例措置の存続、  
特別償却制度の延長などが決定

宮川政昭常任理事は1月7日に開催された第29回常任理事会で、昨年12月20日に与党が決定した12月27日に閣議決定された「令和7年度税制改正大綱」の中で、日本医師会の要望が実現した項目等について報告を行った。

日本医師会は昨年8月に「令和7年度医療に関する税制要望」として10項目を取りまとめた上で(内容については本紙第1511号で既報)、関係

係各方面に対し、要望実現に向けた働き掛けを精力的に行ってきた。

その結果の概要は、次のとおりである。

(1) 制度の存続として「社会保険診療報酬に係る事業税の非課税措置」「医療法人の社会保険診療報酬以外の部分に係る事業税の軽減措置」及び「社会保険診療報酬の所得計算の特例措置」の存続が認められることになった。

また、中小企業投資促進税制「並びに」「生産性向上や賃上げに資する中小企業の設備投資に関する固定資産税の特例措置」は、いずれも医療機関で適用できるものは限

られているが、一部見直しの上で、2年(令和9年3月まで)延長となった。

(3) 制度の拡充等として、社会医療法人・認定医療法人・特定医療法人・開放型病院等に係る税制措置に関し、社会保険診療等の収入が全収入の一定割合を超えることとする要件について、補助金収入を分子の社会保険診療等に含める等の改正が実現した。

更に「個人版事業承継税制」に関して、これまで、事業用資産の贈与の日まで引き続き3年以上、後継者が当該事業に従事することが必要とされていたが、贈与の直前において従事していれば良いことに緩和された。

松本吉郎会長は1月7日、相良博典全国医学部長病院長会議会長(昭和大学病院長)、永田恭介(国立大学協会会長(筑波大学)、原晃筑波大学執行役員・特命教授と共に厚生労働省に赴き、福岡資藤厚労大臣と会談を行った。

まず、相良会長は(1)大学病院の実績、(2)高度医療の実践、(3)大学病院における医師派遣の状況、(4)大学の経営状況、(5)次

期診療報酬改定に向けた病院は医療機関としての

支援について説明。

(1)、(2)、(3)では、大学病院が、主に教育や研究及び医療による貢献と、学部教育や卒業教育、卒業臨床教育等の受け入れで大きな役割を果たすとともに、臓器移植や高難度手術及び難病患者の受け入れ等を実施していることを説明。更に、地域医療を支えるため、令和5年6月時点で4万人を超える医師を常勤医師として全国に派遣したことは、厚労省の「勤務環境改善医師派遣等推進事業」、地域医療勤務環境改

善体制整備特別事業(区分Ⅵ)の更なる拡充が必要と訴えた。

永田会長は、附属病院で生じる赤字が、人文科学分野に投資すべき教育研究費で補われている筑波大学の状況を説明し、地域医療に貢献するため他の分野が犠牲になっている現状を問題視した。

松本会長は、「この状態が続けば、地域医療を支える医療機関の経営は、今後ますます厳しい状況になっていく」と述べるとともに、地域の医療提供体制が一度破綻してしまうと、立て直すのは非常に困難であること

を強調。そのような事態を避けるためにも、国からの適切な財政支援が欠かせないと指摘した。

これらの説明・報告を受け、福岡厚労大臣は、大学病院はもともと、地域医療を支える医療機関

が厳しい経営状況に置かれていてに一定の理解を示した上で、新たな地域医療構想を進めるにしても、その前に医療機関が倒れてしまつては本末転倒との認識を示し、「補助金や基金などを必要な現場に届く、使い勝手の良いものにできるよう努めていきたい」と述べた。

また、地域医療構想の見直し、医師偏在対策を進めることは必要であるものの、大学病院を始めとする各地の医療機関が今後とも地域医療を支え、医療提供体制を維持していくためには、何より財源の裏付けが重要であるとの認識を示し、今後厚労省と医療界が協力して、その財源を求めていくことを確認した。

日本医師会 Japan Medical Association  
公益社団法人 日本医師会  
公式 YouTube チャンネル



定例記者会見やシンポジウム、イベントの他、皆さまの健康に役立つ情報を YouTube でも発信しています。新着動画のチェック等に便利なチャンネル登録もお願いします。



# オンライン診療に係る情報共有会

## オンライン診療のこれからについて

### 情報交換



「その推進に当たって何よりも重要なことは安全性の担保である」と強調。かかりつけ医には対面診療と適切に組み合わせ、補完的に使うことが求められるとした。

また、「オンライン診療の更なる普及には、医師の負担の最小化やシステム・通信回線、規則の整備といった環境面の充実に加え、オンライン診療に関する正しい情報を広めることも必要になる」との認識を示す一方、有事・災害時やパンデミックの際には、それらに加えて医療へのアクセスが確保されていることが重要と指摘。オンライン診療が、利便性のみを重視して進められるのではないよう、その法令上の位置付けなどについて十分な議論や準備が求められると強調した。

#### 議事(1) 国、公益団体からの情報提供

①厚生労働省「オンライン診療の利用手順の手引き書」  
②総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
③総務省「オンライン診療令和5年改訂版」  
④総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
⑤総務省「オンライン診療令和5年改訂版」

①厚生労働省「オンライン診療の利用手順の手引き書」  
②総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
③総務省「オンライン診療令和5年改訂版」  
④総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
⑤総務省「オンライン診療令和5年改訂版」

①厚生労働省「オンライン診療の利用手順の手引き書」  
②総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
③総務省「オンライン診療令和5年改訂版」  
④総務省「遠隔医療モジュール参考書」  
⑤総務省「オンライン診療令和5年改訂版」

クリニック院長は、過疎化と高齢化が進むへき地においては、郵便局が地域医療のハブとしての役割などを果たすことが、今後ますます期待されていると強調。現在行われている実証実験では、今後の課題やその解決策などが明らかになりつつあるとした。

④能登半島地震におけるオンライン診療の活用  
⑤オンライン診療に関する医療法改正について

④能登半島地震におけるオンライン診療の活用  
⑤オンライン診療に関する医療法改正について

#### 議事(3) 事例の紹介

③へき地におけるオンライン診療について  
④能登半島地震におけるオンライン診療の活用  
⑤オンライン診療に関する医療法改正について

③へき地におけるオンライン診療について  
④能登半島地震におけるオンライン診療の活用  
⑤オンライン診療に関する医療法改正について

定オンライン診療受診施設」についても法律上の位置付けを明確化し、都道府県への届出や都道府県による指導監督を要件としながら、適切なオンライン診療の推進に努めていきたいとした。

#### 議事(2) 厚生労働科学研究所の成果の紹介

原田昌範山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長は、県土の約6割がへき地で、高

健二郎仙台市医師会会長は「D to P with 2」の形が最適との認識の下、山間部のような医療へのアクセスが悪い場所でもオンライン診療の拡大に努めている実例を交えながら、更なる推進に向けて取り組みべき課題などを示した。

その後のディスカッションでは長島公之常任理事が参加者に対し、「オンライン診療に対し、今

後期待・希望すること②その実現のために国、医師会や医療現場等に期待するアクション」について意見を求め、参加者からはさまざまな意見が挙げられ、活発なやり取りが行われた。

最後に、角田徹副会長が総括し、情報共有会は終了となった。

最後に、角田徹副会長が総括し、情報共有会は終了となった。

### MAMISに関する問い合わせ先

医師会会員情報システム (MAMIS) に関する各種の問い合わせにつきましては下記をご活用願います。

医師会会員情報システム運営事務局 (コールセンター)

inquiry@mamis.med.or.jp

0120-110-030 (受付時間: 平日 10:00~18:00)

医師向け情報共有サイト

URL: <https://mamis.member-sys.info>

## ベースアップ評価料の 本年2月中までの届出のご検討をお願いいたします!!

令和6年度診療報酬改定で新設された「ベースアップ評価料」の届出様式ですが、このたび、現場からのご意見を踏まえ、従来の様式から下記のように大幅に簡素化されました。

### 今回行われた簡素化の内容

- 「外来・在宅ベースアップ評価料 (I)」のみを届け出る場合の届出添付書類が大幅に簡素化されました。  
※新しい届出添付書類 (Excel) には「別添」「計画書」「届出書」の3つのシートがありますが「別添」シートを入力するだけで、「計画書」と「届出書」は、ほぼ自動的に完成します。
- 基本的には、直近1カ月の初・再診料等の算定回数を調べて頂くだけで、届出添付書類の作成が可能になりました。

国の令和6年度補正予算において、例えば診療所であれば、1施設当たり18万円の給付金が支給されることになりましたが、支給を受けるためにはベースアップ評価料を算定していることが要件とされています。

このたび、届出様式が大幅に簡素化されたことを機会に、ぜひ、「ベースアップ評価料」の **本年2月中まで** の届出のご検討をお願いします。

詳しくは厚生労働省ベースアップ評価料特設サイト等をご確認願います。 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411\\_00053.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00053.html)



日医総研だより

地域医師会立看護師等養成所が

直面する存続の危機

2000年、全国には看護師・准看護師養成所が1263校、看護大学・短大が151校ありました。それが2024年には養成所が814校、看護大学が310校と、大学は2倍以上に増加する一方で准看護師課程や看護師2年課程の養成所は大きく減少しています。

特に准看護師学校養成所は平成29年から令和6年までに50校が閉校となり、地方の看護教育に大きな影響を与えています。

医師会立養成所では、令和5年度に准看護師課程2校、看護師2年課程6校が募集停止、令和6年度には准看護師課程10校、看護師の2年課程6校、3年課程1校が募集を停止しています。

この背景には、18歳人口の減少に伴う人口減少地域での経営難が挙げられます。准看護師学校養成所は地方に多く設置されており、その地域特有の厳しい環境にさらされてきました。

また、家庭ごとの子ども数が減少し、ある程度は学費を捻出できる家庭が増えたことが大学進学が増加につながっていると考えられます。

死に目いかにしようか

子どもの頃に読んだ民話にスズメとツバメの姉妹の話があった。ある日、姉妹の元にお母さんが危篤との知らせが入る。妹のスズメはいつもの茶色の地味な服のまま飛んでいったが、姉のツバメはおしゃれに時間が掛かり、お母さんの最期に間に合わなかった。その後、神様は親孝行なスズメには米が実ったら一番先に食べて良いと言いつつ、ツバメには土や虫を食べるよう決め、ツバメは「ツチクツチムシクツチシブイ」と鳴くようになったという話だ。



「死に目に会えなかった」ということは、死に目に会えなかったことを悔いる気持ちを抱き続けている人もいます。

多くの日本人は、身近な人の「死に目に会う」ということを大切なことだと考えている。本人の意思が確認できなくなった高齢者の家族に終末期の意向を確認すると、「家族が到着するまでは延命を」と希望されることもある。死に目に会えなかったことを後悔することの方が重要ではないだろうか。

止が相次ぐことで、地域で働く看護職は更に減少し、病院や診療所の運営が困難になっていくでしょう。地方の看護職不足は、その地域の医療機関の閉鎖を招き、結果として人口の流出が進むという悪循環を生み出しています。このように医療機関の喪失は、地域の存続そのものに深刻な影響を及ぼしてしまうのです。

案内

子育て支援フォーラム in 和歌山
子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して
主催：日本医師会、SBI子ども希望財団、和歌山県医師会



日本医師・従業員支部案内

国民年金基金制度では、掛金金額が社会保険料控除の対象となる他、年金の給付には、公的年金等控除が適用され、更に、遺族一時金については、遺族一時金について必要となります。それぞれを確認の上、必要な手続きを忘れずにお願います。

お知らせ

日本医師会総合医療政策研究機構（日医総研）の研究員の報告書やワーキングペーパーは日医総研のホームページからご覧いただけますので、ご活用願います。
https://www.jmari.med.or.jp/



申し込みサイト

デジタル医師資格証とは？

日本医師会が発行するスマホで使える電子版の医師資格証です。

デジタル医師資格証は、医師資格証（HPKIカードまたはセカンド電子証明書）をお持ちの方がご利用になれるアプリです。

医師資格証をまだ申請されていない方は、是非お申し込みください。

- 【デジタル医師資格証でできること】
・全国医師会研修管理システムで管理している講習会受講履歴と学習単位の表示
・電子処方箋発行のためのQRコード読取※お使いの電子処方箋システムがカードレス署名に対応している場合
・偽造防止策を施した医師資格証の券面情報の表示 など

医師資格証申込 検索



# 南から北から

北海道  
北海道医報  
第1263号より

## コロナ禍のせいで 歌手になった話

岡本 拓也



歌手としてお金を稼ぐようになる日が来ようとは、まさかである。

コロナ禍でなければやらなかったであろう、とあるカラオケアプリをダウンロードしたが、約2年半前。最初はカラオケとして歌うためにだけに使っていた。しばらくして、歌って録音したものを「投稿」するようになった。機能があれば試したくなる。投稿した僕の歌を聴いてくれる人が少しずつ増えていった。

更にしばらくすると、そのカラオケアプリに「ライブ配信機能」が加わった。文明の進歩とはすごいもので、スマートフォン一台あれば、大げさに言えば世界中の人々に向かってライブ配信できる時代が到来したのである。そのカラオケアプリの会社と「ライブ契約」なるものを結び、恐る恐るライブ配信をするようになった。

ライブの自身は歌とトークだが、今の「推し文化」を反映してか、少しずつ固定客も付くようになり、今ではほぼ毎日の

る。時間も労力も要する。しょぼいとはいえ「二刀流」はシンプルに疲れもする。しかし、それを上回る楽しさと充実感があるのも事実である。だからこそ続けている。今や副業と化した歌手活動を、ファン(202

3年9月12日現在、フォロワー数3348人)の方々と共に日々楽しんでる。今日この頃である。人生は何が待っているか分からない。良いこと悪いこと含め、何てこったの連続である。でも、だからこそ面白い。

蛇足ながら誤解なきように慌てて一言付け加えるが、本業である医師の仕事も全力で日夜尽力しております。

岩手県  
きたかみ医報  
第523号より

## 船出

柴内 一夫



八戸で勤務の時、漁船乗組員が脳卒中になり、その船から病院までの搬送に医師として関わった。「洋上救急」についてのお話です。

緊急の事態ですから準備も程々に、男性の看護師と共に自衛隊基地に向かい、ヘリコプターに乗り込んで海の上を夜間飛行しました。近くに待機する海上保安庁の大型巡視船に乗り込むためです。フライトの途中、明かりを灯す民間の船が何もない暗闇の中を航行しており、そのボツンとした孤独感と温かい電球の色がなぜか印象的でした。

巡視船では船長やスタッフの方々に厚遇を受け、一番風呂に入らせてもらったり、個室の船室をあてがってもらったりしました。食事をおいしく

さんを上空のヘリに引き上げるという救助でした。ヘリの機長は優秀なベテランのごとく、巡視船のスタッフから厚く信頼されていました。また、2人の機動救難士は過酷な訓練を長期間にわたって続けている(ので家に帰れない)笑)と語ってくれました。今でもあの方々に心服する気持ちに変わりはありません。

患者さんは麻痺と構音障害が軽度であり、脳梗塞か脳出血かは分からなくとも、脱水に留意してバイタルサインを安定させれば良いといった状況でした。

あとほわれわれ医療チームに任せての気負いは、しかしながらもろくも現実の荒波に飲み込まれてしまいました。復路は私と看護師がひどい船酔いになってしまったので、酔いになってしまったの脇で常につき添うようにしていました。はた目には、重症感や医療チーム側にあつたのかも知れませんが、それでも医療者としての矜持を保つよう「患者さんと共に」頑張らなければ、何とか病院までたどり着きました。

鳥取県  
鳥取県中部医師会報  
NO.105より

## 父の話

宇奈手 一司



亡くなった父のことを思い出すが最近よくある。

僕は56歳になったが、父は今の僕ぐらいの歳で、それまで勤めていた地元の簡易郵便局を退職し、簡易郵便局の合併により業務内容が大きく変わる事になり、早期退職したようだ。僕達子どもの学費や老後の生活費もある程度どがついたのだらう。当時の田舎の

酔いになってしまったの脇で常につき添うようにしていました。はた目には、重症感や医療チーム側にあつたのかも知れませんが、それでも医療者としての矜持を保つよう「患者さんと共に」頑張らなければ、何とか病院までたどり着きました。

そうだった。保険を理解し、他人に勧めてお金を払ってもらわないといけない。ノルマもあっただろう。冗談が好きで、誰とでも気軽に話し、お調子者だった。そんな父には保険の勧誘は、どこか後ろめたさがあったのかも知れない。今思えば鬱のように感じていた。

退職した父は、畑や田んぼ、山の仕事を楽しんでやっていた。僕も小さい頃から手伝っていた。父は何でもできた。小屋を建てたり、池を作ったりしたのを覚えていた。農機具や大工道具、チェーンソーや電動のこぎり、溶接機、グラインダーなど家にはあらゆるものがそろっていた。家のリフォームも大工さんに頼んではいたが、父もかなりの部分を手伝っていた。石垣の積み方も父に教えてもらった。そういうことは本当に何でもできた父だった。

父はスキーも好きだった。僕が子どもの頃に一緒に始め、毎シーズン家族でスキーに出掛けていた。高校に入り父とスキーをすることはなくなった。父はスキーも好きだったが、僕が子どもの頃に一緒に始め、毎シーズン家族でスキーに出掛けていた。高校に入り父とスキーをすることはなくなった。

僕が美家を継ぐことはなくなったが、母が倒れて長年放置されていた畑を昨年から弟が始めた。僕も何だかうれしい気持ちでいる。先日ふと鏡の中の自分を見て、目じりの皺が父に似ていると思った。嫌ではなかった。

ある日の電話で父から話があった。「スキー場でリフトの隣に座った女

医会・学会だより

※活動の詳細は各会のホームページをご覧ください。

日本臨床内科医会

『医療スタッフ向け生活習慣病指導スキルアップセミナー』  
日本医師会 会員向け優待のご案内

日本臨床内科医会では医療スタッフ向けに、生活習慣病療養計画書を作成できる知識とスキルを体系的に学ぶオンラインセミナーを開始しました。医療スタッフが生活習慣病の基礎的な知識を身につけ、療養指導計画の作成ができるようになることを目指すオンラインセミナーです。全ての動画を視聴すると受講証明書（PDF）が発行されます。



医療スタッフのスキルアップにお役立て下さい。

セミナー概要

Table with 4 columns: ①, テーマ, 講師, 時間. Rows include topics like Metabolic Syndrome, Chronic Kidney Disease, Lipid Abnormalities, Diabetes, Hypertension, and Lifestyle Modification.

受講費用：

日本医師会 会員向け（特別価格） 5,000円  
一般向け 8,000円

お申し込みは下記URLもしくは右の二次元コードから  
https://www.japha.jp/skillup-nichii.html



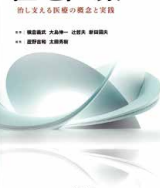
書籍紹介



が制定された。

在宅医療  
治し支える医療の概  
念と実践  
横倉義武 他 監修  
蘆野吉和 他 編

在宅医療



高齢化の進展による社会状況や疾病構造の変化に伴い、「治す医療」から「治し支える医療」への理念の転換が図られ、医療介護総合確保推進法

本書は新しい医療の概念を明らかにし、体系的にまとめた本邦初のテキストであり、主に医学生及び在宅医療を志す医師を対象としているが、看

護職等にも有用なものになっており、ぜひ、一読をお勧めしたい一冊と言える。

その基本理念は地域包括ケア、多職種連携であり、これらを具現化する

のが「在宅医療」である。令和4年度に改訂された医学教育モデル・コア・カリキュラムにもこの流れと同方向の考え方が盛り込まれており、今後の医学教育における重要なテーマとなっている。

室伏広治と考える  
運動器機能の  
評価と改善  
Koji Awareness  
室伏広治 著



現・スポーツ庁長官であり、アテネ五輪金メダリストの著者が、簡便な

運動器機能の評価・改善メソッドとして提唱し、普及活動を行っている「Koji Awareness（K A）」。

本書では、そのK Aの理論と実践を医療従事者・スポーツ指導者に向けて動画付きで解説している。

K Aは身体の11部位についてスクリーニングテストを行い、達成できない部位の機能低下を発見する「運動器機能評価」と、機能低下がみられた部位を12の機能改善エクササイズでフォローする「改善運動の2本柱」で構成されている。

1部位当たりの所要時間は数十秒程度、更に道具不要で実践でき

る手軽さが特徴である。本書では青山学院大学駅伝チームがランニング障害予防に活用した事例を紹介しているが、K Aの応用範囲は中高齢者までと幅広い。ぜひ日常診療や保健指導、健康増進

に活用してほしい。本書は、そのK Aの理論と実践を医療従事者・スポーツ指導者に向けて動画付きで解説している。

K Aは身体の11部位についてスクリーニングテストを行い、達成できない部位の機能低下を発見する「運動器機能評価」と、機能低下がみられた部位を12の機能改善エクササイズでフォローする「改善運動の2本柱」で構成されている。

1部位当たりの所要時間は数十秒程度、更に道具不要で実践でき

教室などの中でK Aを活用して頂ければと思う。『あの室伏広治がオススメ』する運動であれば、運動嫌いな方の興味も喚起するかも知れない。

定価 2,420円(税込)  
発行 文光堂

好評書籍「呼吸器疾患診療指針 2023-24」の改訂が2年ぶりに行われ、「第6版」として刊行された。更に今回は、近年特に注目される「トピックス」6項目が加わっている。

本書は、呼吸器疾患診療のエキスパートが「呼吸器感染症」「アレルギー性肺炎」「肺腫瘍」など、代表的な疾患領域全70項目について、国内外の最新のガイドラインや知見を整理し、自身の診断と治療のエッセンス、処方の実践を含め、コンパクトに解説したものである。

し、診療に生かすための指針となる一冊である。定価 1,430円(税込)  
発行 総合医学社

改訂第2版  
大規模イベント医療・救護ガイドブック  
日本医師会救急災害医療対策委員会 編

大阪・関西万博の開催も間近に迫っているが、スポーツ大会やコンサートなど、大規模イベントは日常的に開催されている。

本書では大規模イベント特有の傷病や事故、C BRNE災害を想定し、救急医療・救護対応を行うために必要な知識（多数傷病者の発生、真夏の開催に伴う熱中症対策、外国人医療対応、感染症対策など）を分かりやすく解説している。

みてわかる、ニキビ診療 虎の巻  
黒川一郎  
乃木田俊辰  
野村有子 著



本書は「見て分かる」をコンセプトとして、写真やイラストを多用して分かりやすく示したニキビ診療のための実用的な解説書となっている。

その内容は「尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023」に基づいて執筆されたものとなり、おり、最新情報も盛り込まれている。

「ニキビとは？」「ニキビ治療のA to Z」「ニキビとニキビ痕の対応」「ニキビ関連疾患」「ケーススタディ」「ニキビ治療をもっと理解する」という六つの章で構成。項目ごとにワンフレーズでポイントに記載するなどの工夫もなされ、非常に分かりやすい。

本書には「世の中のニキビに悩む患者さんに貢献したい」という著者達の強い思いが込められており、皮膚科医のみならず、広く一般診療に携わる医療従事者にお勧めしたい一冊と言える。

定価 4,400円(税込)  
発行 南江堂



日本医師会キャラクター  
日医君公式グッズ  
販売中!



ご購入はコチラから  
https://bit.ly/3J5M2H8

